

TOKYO2020
オリンピック・パラリンピック
下妻市ホストタウン事業報告書

資料編



ホストタウンとは

1 ホストタウンとは

「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に参加する国・地域の住民等がスポーツ、文化、経済などの多様な分野で交流することを通じて地域の活性化等に活かし、東京大会を超えた末永い交流を実現することを目的とした取り組みです。

この「ホストタウン」の取り組みは、過去の大会にはないもので、2019年12月に「オリンピック休戦決議」が国連総会で採択された際に、史上初の取り組みとして「ホストタウン」が紹介されています。2021年7月13日現在で、登録する自治体数も533となり、受け入れる相手国・地域数も185となっています。

全国各地の「ホストタウン」では、スポーツの推進、共生社会の実現、グローバル化の推進など様々な活動が実施され、住民と大会参加者や大会参加国・地域の方々との交流、日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流が行われてきました。

誰もが主役になれる、誰もがオリンピック・パラリンピックに関われるのが、「ホストタウンの醍醐味」です。あなたの住んでいる「街」や「ふるさと」と、東京大会に参加する選手の国や地域が、「ホストタウン」を通して繋がり、交流することで大会を超えたつながりを未来へ向けて築いていく。これが「ホストタウン」の目指す姿です。

2 ホストタウン登録の経緯

ブルンジ共和国については、現在ブルンジには日本国大使館がなく、隣国の在ルワンダ日本国大使館が兼轄していますが、在ルワンダ日本国大使館専門調査員であった、塚越貴子氏（下妻市出身）を通じ、民間団体に東京オリンピック・パラリンピック時の交流事業や事前キャンプの受入れについて申し入れがあり、市民の盛り上がりや機運醸成が高まりつつあったことから、選手団やその関係者を受入れることを決定しました。その後、令和2年3月31日にブルンジ共和国の「ホストタウン」として第19次登録を受けました。

3 ブルンジ共和国とは

東アフリカの内陸に位置し、ルワンダ共和国・コンゴ民主共和国と国境を接する国家です。

【面積】2.78万平方キロメートル（四国と同規模）

【人口】1,153万人（2019年、世界銀行）

【首都】ブジュンブラ（政治機能所在地はギテガ）

【言語】仏語（公用語）、キルンシ語（公用語）

【日本との関係】1989年8月在京ブルンジ大使館が開設されたが、1997年4月閉鎖された。日本国内に大使館はなく、2014年11月から在ルワンダ大使館が兼轄。

4 ホストタウン最終登録団体数

国内…533件（2021年7月13日時点）

茨城県内…19件（2021年7月13日時点）

ホストタウン事業経過概要

年	月 日	概 要	
R元 (2019)	12月	在ルワンダ日本国大使館専門調査員の塚越貴子氏（下妻市出身）を通じ、ブルンジ共和国からオリンピック・パラリンピック選手団の事前キャンプや交流事業の申し出を受理	
R2 (2020)	3月 3日	ブルンジ共和国の東京オリンピック・パラリンピック参加への支援について定例記者会見にて発表	
	3月 11日	東京都内閣官房庁舎にてブルンジ共和国とのホストタウン登録の打合せ参加	
	3月 24日	東京オリンピック・パラリンピック開催延期が決定	
	3月 31日	「ブルンジ共和国」ホストタウンとして登録	
	8月 19日	在ルワンダ日本国大使館の今井特命全権大使が下妻市訪問	
	9月 26日	市民によるブルンジ共和国に関する勉強会開催	
	10月 13日 14日	岩手県八幡平市ヘルワンダ共和国との農業交流の先進事例及び事前キャンプ等に関する視察	
	11月 16日	下妻市オリンピック・パラリンピック推進員に塚越貴子氏を委嘱	
	11月 27日 28日	まちづくり団体「しもつま3高」協力の下、伝統アート「イミゴンゴ」の展示会を開催	
	12月 2日 3日	認定NPO法人テラ・ルネッサンスによるブルンジ講演会開催 (2日：下妻市立図書館、3日：下妻市役所本庁舎)	
	12月 15日	茨城県自治体の連携によるホストタウン交流事業についてオンラインにて意見交換・検討	
	R3 (2021)	1月 27日	ホストタウン事業に関する覚書（MoU）オンライン締結式開催
		2月 21日	ホストタウンサミット2021へ出演（茨城県内4市連携）
		2月 25日	認定NPO法人テラ・ルネッサンスによるブルンジ講演会開催（千代川中学校・ブルンジからオンライン）
2月 26日		ブルンジ講演会、アフリカ料理試食会、ブルンジのオリ・パラ選手、下妻市出身のオリンピックのインタビューなどを収めたDVD教材の制作	
2月 27日		ホストタウン交流の経過と取組について、読売新聞（茨城版）にて特集記事を掲載	
2月 28日		オンライン文化交流として「しもつま3高」協力の下、You Tubeチャンネル【しもつまG Chan】を開設、配信開始	
3月 2日		市立小中学校の自校式給食でブルンジ風料理を提供	
3月 9日		市内41施設でホストタウン交流の取組みのポスターを一斉掲示	
3月 18日		内閣官房主催 全国のホストタウン意見交換会・懇親会の開催	
4月 14日		カウントダウンボード設置（下妻市役所本庁舎1階市民ホール）	
5月 27日 28日		聖火リレートーチ巡回展示を実施（下妻市役所本庁舎1階市民ホール）	
6月 17日		ブルンジ選手団 受入れマニュアル（事前合宿編）の作成	
6月 19日		事前キャンプに備え、スタッフへの新型コロナワクチン優先接種を開始	
6月 25日		ホストタウン横断連携プロジェクト「音楽でつながりレー動画」撮影	
6月 25日		両国間の受入れに関する誓約書・同意書・合意書を内閣官房に提出	
6月 28日		茨城県筑西保健所による宿泊施設等調査	
6月 29日		防護衣着脱訓練の実施（茨城県筑西保健所）	
7月 2日		ホストタウン横断連携プロジェクト「絵本プロジェクト」オンライン交流会開催	
7月 7日		広報啓発用横断幕設置（小野子歩道橋・とばのえ歩道橋・本宗道歩道橋）	
7月 7日		「Kazei Shimotsuma!（ようこそ下妻へ!）展」を開催（イオンモール下妻・ピアスパークしもつま）※下妻ブルンジ選手団支援委員会主催（～8月31日）	

年	月 日	概 要
	7月 8日	ブルンジ共和国オリンピック選手団事前キャンプ・事後交流について中止を決定
	7月13日	市立小中学校の自校式給食でブルンジ風料理の提供
	7月23日	東京2020オリンピック開会(～8月8日)
	8月16日	事前キャンプに係る市職員への防護衣着脱研修開催
	8月18日	事前キャンプ宿泊施設スタッフへの防護衣着脱研修開催
	8月18日	ブルンジ共和国選手団としてブルンジ共和国青年・スポーツ省ニューバウエ・サムエル局長が来市
	8月19日	ブルンジ共和国パラリンピック選手団歓迎式開催
	8月20日	ニューバウエ局長が東京晴海の選手村へ出発
	8月24日	東京2020パラリンピック開会(～9月5日)
	8月26日	世界のおもてなし料理レガシープロジェクト「アフリカ大陸参加自治体オンライン交流会」の実施
	8月31日	選手村滞在中のブルンジ共和国パラリンピック選手団とオンライン交流を実施

競技日程・出場成績

オリンピック

選手	種別	日程	競技結果・記録
ニヨンサバ・ フランシーヌ選手	陸上女子 10000m	決勝：8月7日	5位入賞 30分41秒93
	陸上女子 5000m	予選：7月27日 準決勝・決勝： 8月2日	失格
ンジクウィンクダ・ エリック選手	陸上男子 800m	予選 準決勝・決勝 7月31日	予選5組6位 1分47秒97
イラバルタ・ オリヴィエ選手	男子 マラソン	8月8日	39位 2時間17分44秒
ガニラ・ベリー・ クレーサス選手	競泳男子100m 自由形	予選：7月27日 準決勝：7月28日 決勝：7月29日	予選2組8位 54秒33
カゼ・オドリナ選手	競泳女子 50m自由形	予選：7月28日 準決勝・決勝 8月1日	予選1組2位 33秒39
オルネラ・ハブヤリマナ選手	ボクシング女子 フライ級	1回戦：7月25日 2回戦：7月29日 準々決勝：8月1日 準決勝：8月4日 決勝：8月7日	2回戦敗退

パラリンピック

選手	種別	日程	競技結果・記録
ムシランジソ・ アデリーン選手	陸上女子 400m/T47 (肢体・運動機能)	予選：8月27日 決勝：8月28日	予選2組6位 1分16秒84
ニコビメゼ・ レミー選手	陸上男子 1500m/T46 (肢体・運動機能)	決勝：8月28日	10位 4分5秒44

広報啓発物・活動一覧

■令和3年広報啓発物

月	製作物	製作数	概要
2	読売新聞特集紙面	363,000部	読売新聞（茨城県版）への特集記事の掲載
	DVD教材	15枚	市内小中学校配布
3	ホストタウン交流取組ポスター	100枚	市内施設掲示
4	カウントダウンボード	1枚	市役所本庁舎1階市民ホール設置
7	横断幕	3枚	小野子歩道橋、とばのえ歩道橋、宗道歩道橋へ設置
	のぼり旗（下妻ブルンジ選手団支援委員会作成）	200本	市内各所設置
8	絵本	50部	参加者等配布

■令和2～3年広報啓発活動

月	活動	概要
(R2年) 11	イミゴンゴ・アート展	まちづくり団体「しもつま3高」協力の下、客人をもてなす室内装飾「イミゴンゴ」や、両国の概要、文化などを紹介する「ブルンジ・ルワンダ国境エリアに伝わるおもてなしアート展」を開催
12	認定NPO法人テラ・ルネッサンスによるブルンジ講演会	ブルンジ共和国にて活動する認定NPO法人テラ・ルネッサンスによる国の概要や風習などの実情についての講演会を開催（2日下妻市立図書館、3日下妻市役所）
	アフリカ料理試食会	アフリカの食文化に触れ理解を深めることを目的に開催（さんぼの駅サン・SUN さぬま「8代葵カフェ」）
(R3年) 2	YouTubeチャンネル【しもつまGチャン】開設	両市民が相手国の文化を理解することにより友好関係を構築し、ホストタウンとしての機運を醸成する事を目的として、動画を作成しチャンネルを開設
2	認定NPO法人テラ・ルネッサンスによるブルンジオンライン講演会	認定NPO法人テラ・ルネッサンスによる中学生向けの国際理解教育を目的とするオンライン講演会を開催（千代川中学校）
3	ブルンジ風給食提供	市内小中学校自校給食にてブルンジ風給食「ほうれん草のニユムニユ（塩）ソテー（炒め）」「ニビハラゲ（豆）のニヤニヤ（トマト）煮」を提供
5	聖火リレートーチ巡回展示	トーチは茨城県内の全市町村を4月1日から7月1日にかけて回り、下妻市は5月27、28日に展示（下妻市役所本庁舎1階市民ホール）
7	Kazei Shimotsuma!（ようこそ下妻へ!）展	下妻市ブルンジ選手団支援委員会主催で未就学児、中学生、高校生の作品を展示（イオンモール下妻、ピアスパークしもつま）
	ブルンジ風給食提供	3月に引き続き市内小中学校自校給食にてブルンジ風給食「ニヤマ（肉）」と言われるミートボールのトマト煮を提供
	広報しもつま各号	令和3年1月号から連載「Muraho!（ムラーホ：ブルンジ語でこんにちはの意味）」を掲載。その他、令和3年7月号ではオリンピック特集記事、8月号ではパラリンピック特集記事を掲載
	下妻市公式HP	随時情報更新

協力・協賛団体

■企業版ふるさと納税

(敬称略：順不同)

No.	協賛者	対象事業
1	育良精機株式会社	企業版ふるさと納税 SDGs 推進事業 【ブルンジ等国際交流推進事業】
2	株式会社トップ	
3	岡部株式会社	
4	株式会社三福	

■物品協賛等

(敬称略：順不同)

No.	協賛者	協賛品等
1	常総ひかり農業協同組合	文字入りメロン、梨、ブルンジ共和国国旗、寄せ書き入り旗
2	株式会社三五関東	不織布マスク 10,000 枚、足踏み式アルコール噴射機 5 台
3	株式会社 LIXIL 下妻工場	聖火リレートーチパネル
4	ガールスカウト茨城県第 42 団	手作りメダル、手染めトートバック
5	下妻市更生保護女性会	千羽鶴
6	飯塚 孝子、門井 和子、菅谷 篤子 中里 一枝、松村 貴美子、吉井 淑威	手作り布マスク、絵画

■協力

(敬称略：順不同)

下妻ブルンジ選手団支援委員会

在ルワンダ日本国大使館

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

茨城県 県民生活環境部オリンピック・パラリンピック課

下妻市更生保護女性会

茨城県筑西保健所

大宝保育園

大和保育園

八千代保育園

きぬ保育園

下妻保育園

認定こども園下妻いずみ幼稚園

下妻市立下妻小学校

下妻市立大宝小学校

下妻市立騰波ノ江小学校

下妻市立上妻小学校

下妻市立総上小学校

下妻市立豊加美小学校

下妻市立高道祖小学校

下妻市立宗道小学校

下妻市立大形小学校

下妻市立下妻中学校

下妻市立東部中学校

下妻市立千代川中学校

茨城県立下妻第一高等学校

茨城県立下妻第二高等学校

真壁医師会 下妻支部

医療法人怜真会 中山医院

医療法人光潤会 平間病院

医療法人社団 白峰会 湖南病院

茨城県西部メディカルセンター

茨城西南医療センター病院

イオンモール下妻

ガールスカウト茨城県第 42 団

塚田真希 (東海大学)

黒須成美 (東海東京フィナンシャル・

下妻イタリアンレストラン ダ・フィオーレ

ホールディングス株式会社)

下妻警察署

下妻消防署

まちづくり市民団体 しもつま3高

認定 NPO 法人 テラ・ルネッサンス

独立行政法人国際協力機構 (JICA) JICA 筑波

株式会社 下妻スポーツ

8代葵カフェ

みなさまの心温まるご支援、ご協力 ありがとうございました



東京2020オリンピック・パラリンピック下妻市ホストタウン事業報告書

(令和3年11月発行)

編集発行：下妻市

協力：下妻ブルンジ選手団支援委員会

〒304-8501 茨城県下妻市本城町二丁目22番地

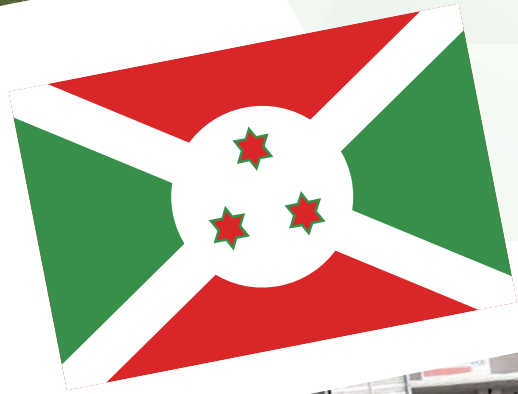
TEL：0296-43-2111(代表)

■報告書の取扱いについて この報告書の記事、写真等の著作権は、下妻市及び当該情報提供者にありますので、無断での使用はできません。

TOKYO 2020

Republic of Burundi

Shimotsuma City



Olympic and Paralympic Games